

**英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業  
国際協力型廃炉研究プログラム（日露原子力共同研究）  
事後評価総合所見**

<p>研究課題名：燃料デブリ取出し臨界安全技術の高度化          研究代表者（研究機関名）：小原 徹（東京工業大学）          再委託先研究責任者（研究機関名）：竹澤 宏樹（東京都市大学）          研究期間及び研究費：令和元年度～令和2年度（2年計画） 23百万円</p>					
項目	要 約				
1. 研究の概要	<p>臨界解析に高度な知識と経験を有する日露の専門家が協力し、福島第一原子力発電所の燃料デブリ取出し作業時の安全確保に資する燃料デブリ再臨界可能性の評価を高度化することを目的とする。具体的には、日本側は燃料デブリ水中落下時の臨界性解析の高度化、ロシア側は燃料デブリ組成解析及び臨界性等の手法の高度化を進め、さらに日露共同で燃料デブリ臨界解析のベンチマーク解析を行い燃料デブリ臨界解析の精度についての検証を行うこととして、以下の項目を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 燃料デブリ水中落下臨界解析の高度化</li> <li>2) 燃料デブリ臨界解析ベンチマーク</li> </ol>				
2. 総合評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50px;"><b>A</b></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1Fニーズに対応しており、臨界安全技術を高度化するための実施内容が明確であることも評価ができる。</li> <li>・一方、計算機の性能の問題もあるが、迅速性については十分ではないため、改善を行って欲しい。</li> <li>・研究期間が短い課題ではあったが、今後の課題は把握できているため、令和3年度に採択された継続課題において、初期条件の設定範囲や計算モデルの精度向上など、しっかりと進めて欲しい。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている            A) 優れた成果があげられている            B) 相応の成果があげられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんどあげられていない</p> </td> </tr> </table>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1Fニーズに対応しており、臨界安全技術を高度化するための実施内容が明確であることも評価ができる。</li> <li>・一方、計算機の性能の問題もあるが、迅速性については十分ではないため、改善を行って欲しい。</li> <li>・研究期間が短い課題ではあったが、今後の課題は把握できているため、令和3年度に採択された継続課題において、初期条件の設定範囲や計算モデルの精度向上など、しっかりと進めて欲しい。</li> </ul>	<p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている            A) 優れた成果があげられている            B) 相応の成果があげられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんどあげられていない</p>	
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1Fニーズに対応しており、臨界安全技術を高度化するための実施内容が明確であることも評価ができる。</li> <li>・一方、計算機の性能の問題もあるが、迅速性については十分ではないため、改善を行って欲しい。</li> <li>・研究期間が短い課題ではあったが、今後の課題は把握できているため、令和3年度に採択された継続課題において、初期条件の設定範囲や計算モデルの精度向上など、しっかりと進めて欲しい。</li> </ul>				
<p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている            A) 優れた成果があげられている            B) 相応の成果があげられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんどあげられていない</p>					